

(1) 古墳、古代遺跡

古代の人々は、豊富な水と肥沃な土地を求め、庄内川流域の小高くなった場所などに「環濠集落」をつくり、次第にそれらの村々が集まって小国家をつくっていったと考えられます。

庄内川沿いには、縄文後期から近世に至る複合遺跡が多く存在しています。

また4～7世紀頃この地域を納めていた権力者たちの墓だと思われる大小の古墳も多く点在しています。

古墳の主体部は横穴式石室が多く、7世紀中頃からの後期古墳が多く存在しています。

庄内川沿いの主な古墳、古代遺跡について上流からみてみます。

- ① 玉野、高蔵寺辺りの高蔵寺古墳群……………p428
- 高蔵寺第5号墳
 - 高蔵寺第3号墳
 - 高蔵寺瓦窯跡
- ② 東谷山ふもとの志段味古墳群(名古屋側)……………p429
- 白鳥塚古墳など
- ③ 自然堤防上に連なる気噴、大留、神領古墳群……………p430
- 【気噴古墳群】**
- 気噴7号墳
- 【大留古墳群】**
- 天王山古墳
 - 親王塚古墳
 - 大留荒子古墳
- 【神領古墳群】**
- 神領第1号墳
 - 三明神社古墳
 - 神領第4号墳
 - 高御堂古墳
 - 神領銅鐸
- } 三明神社内
- ④ 上条、下津、中切、松河戸辺り……………p434
- 桜佐下五反田遺跡
 - 松河戸遺跡
 - 勝川遺跡
- ⑤ 味美周辺の味美古墳群……………p436
- 二子山古墳
 - 白山神社古墳
 - 御旅所古墳
 - 春日山古墳

(参考資料) 春日井市の地形と主要遺跡分布……………p438

松河戸文化科学探求隊
隊長 長谷川 浩
080-3657-7052
松河戸町の沿革ホームページ
<http://matsukawado.com/>

① 玉野、高蔵寺辺りの高蔵寺古墳群

庄内川は、山々に囲まれた岩石の屹立するなかを急流となつて流れています。

高座山と東谷山の山間を抜けると一転して春日井市の街並みがみえ、川は緩やかに流れ、7世紀ころの古墳や、瓦窯跡が発見されています。

高座山南斜面から庄内川の河岸段丘上にわたって多くの古墳があり高蔵寺・高座山古墳群と呼ばれています。

また、高蔵寺第5号墳はこの位置より1.5キロ上流のうぐい川が庄内川へ合流する付近の段丘上の開けた水田の中にあつた、この辺りにも多数の古墳があり玉野古墳群と呼ばれていましたが、今はこの古墳のみで高蔵寺古墳群に含まれています。



高蔵寺・高座山古墳群と庄内川
(東から北西方面をみる平成 23 年頃 市教育委員)

○ 高蔵寺第5号墳

- ・春日井市玉野町
- ・7世紀末頃の後期古墳
- ・古墳の盛土と天井石がなくなっており横穴式石室の壁だけが水田の中に残っていたので、地元では古くから石塚と呼んでいた。
- ・石室の全長は右側で8.05m、左側で7.8m
- ・遺品物は、須恵器5種類、刀子・鉄ぞく・馬具などの金属製品7種類17点で、天井石がなくなっているにもかかわらず保存状態が良く、鉄製品が多いのが特色



高蔵寺第5号墳

○ 高蔵寺第3号墳

- ・春日井市高蔵寺町6丁目
- ・7世紀初頭の古墳
- ・横穴式石室を有する直径約15mほどの後期円墳
- ・昭和47年に発掘調査され、同49年現位置において復元された。
- ・副葬品は提瓶、広口壺の2点のみ



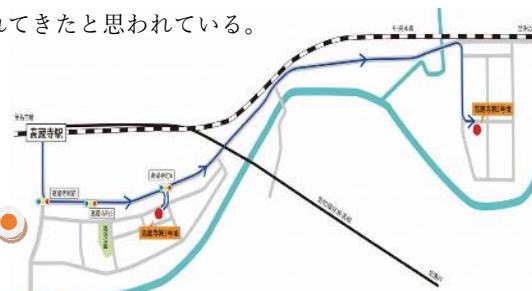
高蔵寺第3号墳

○ 高蔵寺瓦窯跡

- ・高蔵寺3丁目、高蔵寺駅から南西に500m 高座山の南面裾部の河岸段丘面の南端
- ・春日井市内では、7世紀の後半から8世紀にかけての高蔵寺瓦窯と白山瓦窯という2か所の瓦窯跡の存在が知られており、勝川廃寺の瓦は、高蔵寺瓦窯で焼かれ庄内川を運ばれてきたと思われる。



- 高蔵寺第5号墳
- 高蔵寺第3号墳
- 高蔵寺瓦窯跡



春日井市教育委員会 古墳散歩から

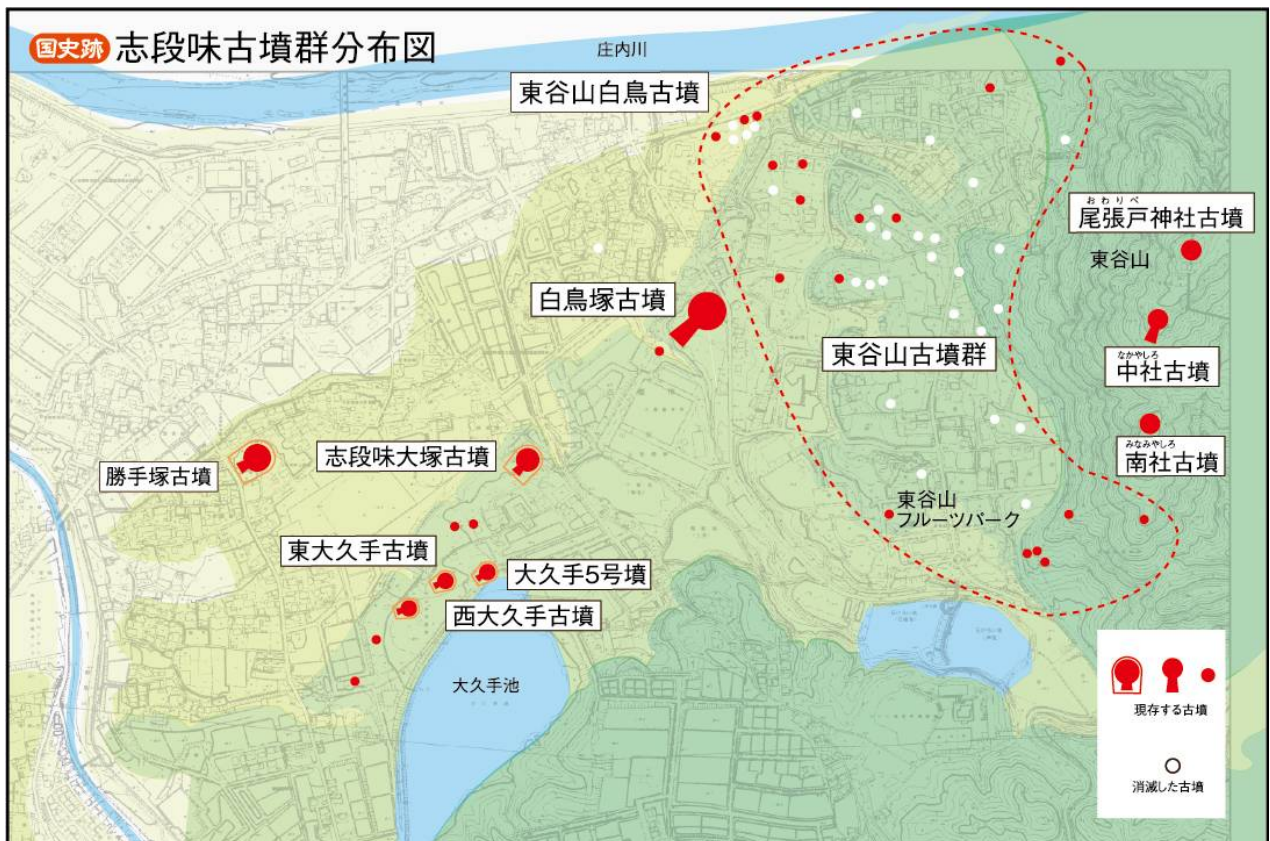
JR 高蔵寺駅南口→(約0.8km・徒歩約10分) 高蔵寺第3号墳→(約2km・徒歩約24分) 高蔵寺第5号墳→(約2.4km・徒歩約30分) JR 高蔵寺駅南口

② 東谷山ふもとの志段味古墳群(名古屋側)

東谷山の麓から龍泉寺にかけての庄内川兩岸の河岸段丘には多くの古墳が築造され、かつて100基を越える古墳が存在していたとされるが、この地区が戦前は軍の演習場であったこと、また戦後は民間への土地払い下げと開発に伴う区画整理が行われたことなどによって多くが失われました。

東谷山のふもとにある上志段味地区には、1972年に国の史跡に指定された「白鳥塚古墳」や、2014年には「尾張戸神社古墳」、「中社古墳」、「南社古墳」、「志段味大塚古墳」、「勝手塚古墳」、「東谷山白鳥古墳」の6基が追加指定されて、これらを含めて「志段味古墳群」と呼ばれており、いずれも4世紀から7世紀にかけて築造されたと考えられています。

名古屋市は、2019年にガダンス施設として、「体感！しだみ古墳群ミュージアム」をオープンしました。



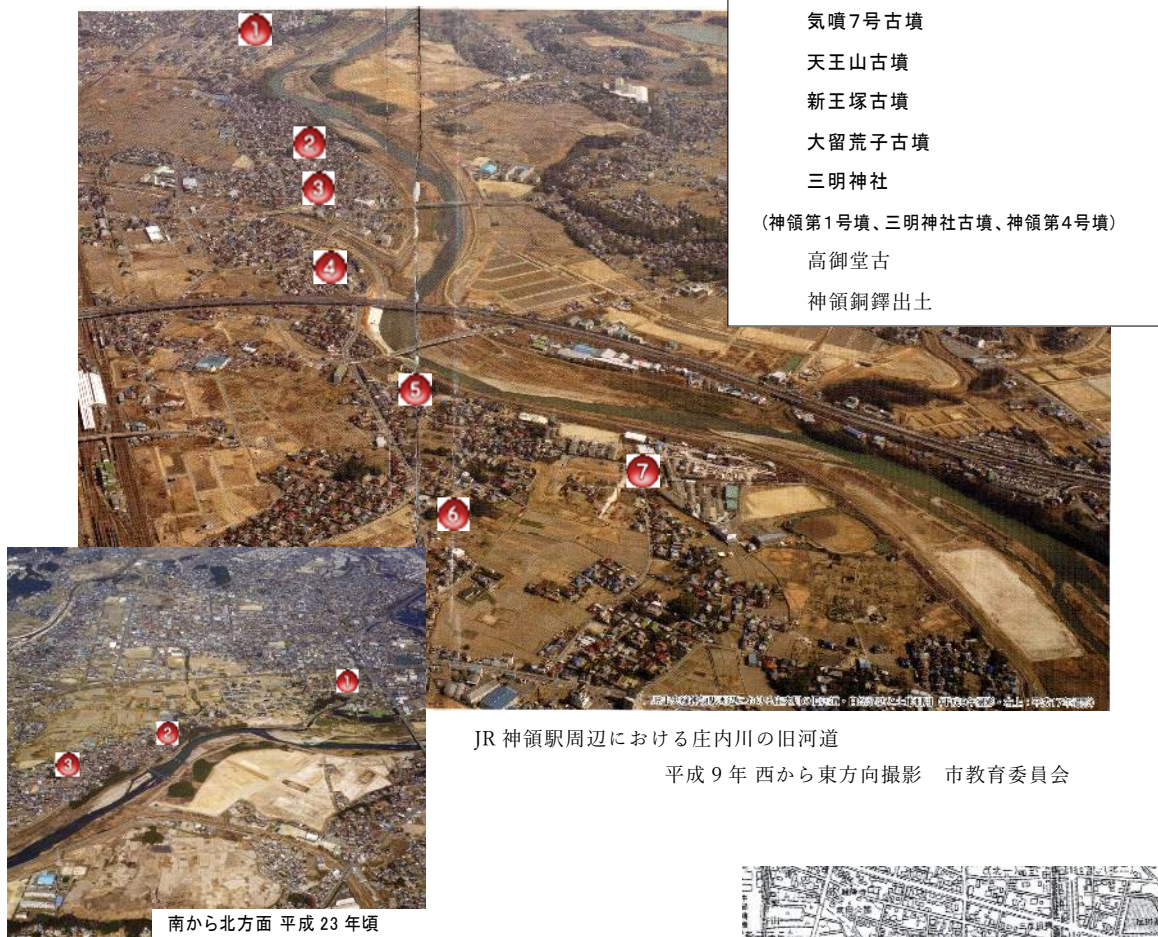
資料

名古屋市役所教育委員会 文化財名古屋保存活用実行委員会

③ 自然堤防上に連なる気噴、大留、神領古墳群

この辺りは、繁田川、内津川が庄内川に合流する地点であり、自然堤防上に4～7世紀ごろの中小の古墳などが多く点在しています。

しかし、区画整理事業による開発が行われ、新たに発見されたものや喪失したものも多数あり、保全活動が進められています。



【気噴古墳群】

気噴古墳群は庄内川右岸の台地上、高蔵寺古墳群の下流側に存在している古墳群です。

現在は気噴7号墳が公園内に保存されているのみで、そのほかはいずれも消滅しています。



気噴古墳群 気噴7号墳

① 気噴7号墳

- ・春日井市気噴町 気噴公園内
- ・7世紀代の後期古墳
- ・直径12m、高さ2.4mの円墳
- ・主体部は横穴式石室（現在は埋め戻され見学不可）
- ・7世紀ごろ気噴付近一帯を中心とする有力者の家族墓と推定される
- ・蓋杯と思われる須恵器が出土したという(伝承)



気噴7号墳
平成14年頃 区画整理中



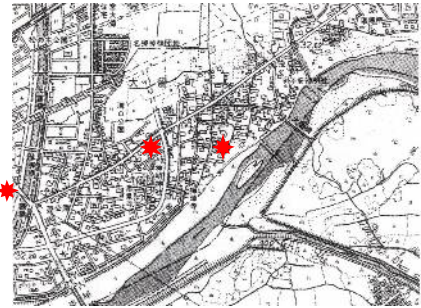
区画整理後気噴公園の中に移された

【大留古墳群】

この辺りは、高座山、東谷山の山間を出て南西流する庄内川が、川幅を広げながら西に向きを変える辺りで、かつて10基余の古墳がありましたが、そのうち3基が現存します。

また、平成10年度より発掘調査が行われ、縄文時代中期（約4500年前）、弥生時代後期～古墳時代前期（約1800から1600年前）、古墳時代後期（約1400年前）、鎌倉から室町時代（800から500年前）の遺構が見られます。

竪穴住居が遺構の中心となっており、縄文時代中期1軒、弥生時代後期～古墳時代前期16軒、古墳時代後期2軒の合計19軒の住居が確認されました。



・大留荒子古墳 ・新王塚古墳 ・天王山古墳

2 天王山古墳

- ・大留町の天道塚公園内
- ・直径約28.5m、高さ4.5mの円墳
- ・標高約32mの庄内川の自然堤防上に立地している。
- ・明治期の地籍図には竹藪として表記されていた。
- ・前期（4世紀頃）の古墳
- ・天王山古墳の周辺には、自然堤防上に弥生時代後期を中心とする大留六反田遺跡、大留井高上遺跡が所在し竪穴住居、中世集落が確認されている。



天王山古墳 現在公園内にある
令和元年

3 親王塚古墳

- ・大留町の神明社境内の西側に位置する。
- ・直径14mの円墳・横穴式石室
- ・石室の長さは4m、幅1.3～1.6m、高さ1.8m
- ・名称は宗良親王あるいは護良親王の遺品を埋葬したとの伝承による。
- ・6世紀末～7世紀初頭の古墳
- ・昭和43年(1968)12月～44年11月発掘調査が行われている。
- ・当地の北2kmのところに、春日井市で最古に属する出川大塚古墳がある。



親王塚古墳

4 大留荒子古墳

- ・大留1丁目の荒子公園に移設
- ・墳径約10m、高さの2.6mの円墳・横穴式石室
- ・被葬者が複数であった可能性もあり、この地域の有力者の家族墓が想定されている。
- ・7世紀前半の古墳
- ・区画整理事業に伴い、昭和63年(1988)に発掘されたのち、平成元年(1989)に内津川沿いにある荒子公園に移設された。



大留荒子古墳

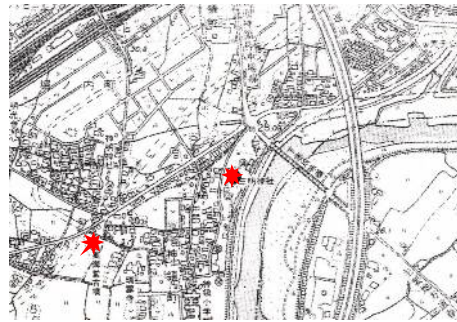
【神領古墳群】

神領第1号墳は平成2年に公民館の排水管理設工事に伴い、4号墳は平成22年に地域住民が耕作中に須恵器を採集したことがきっかけとなって発見された古墳で、墳丘は既に失われ、地上に痕跡を留めていませんでした。

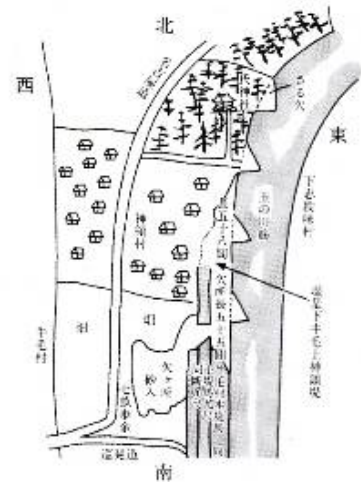
この辺りは、庄内川が大きく曲がり水害の記録が多く残っています。江戸時代に堤防を築いた際の土取りに消えたと思われる。

三明神社社殿の横の林の中に三明神社古墳が現存しており、この南西50mの神社境内地の庄内川右岸の自然堤防上、標高約27mに神領第1号墳(発掘調査後埋め戻されて石柱標識が立っている)が立地しています。この南西約30mに4号墳(平成23年発掘調査後滅失)、さらに明治時代の地籍図には古墳の可能性のある塚の表記が確認できます。

かつて、三明神社境内地を中心に古墳群が形成されたと推定されています。



・高御堂古墳
・三明神社
・神領第1号墳、
・三明神社古墳
・神領第4号墳)



嘉永3年
神領・牛毛村欠ヶ所絵図

⑤ 神領第1号墳

- ・神領町1丁目地内(三明神社境内地)
- ・庄内川右岸の自然堤防上、標高約27mに立地
- ・神社の入り口辺りに解説板があり、この解説版の後方の更地部分が古墳の跡
- ・直径15mの円墳、石室は発掘調査後埋め戻されて石柱標識が立っている。
- ・横穴式石室 長3.3m、幅1.1~1.4m
- ・7世紀後の古墳



神領第1号墳

⑤ 三明神社古墳

- ・三明神社境内
- ・本殿後方が小高く盛られている。
- ・直径約20m、墳丘の高さ3.4mの円墳



三明神社古墳

⑤ 神領第4号墳

- ・三明神社境内
- ・横穴式石室 直径12m
- ・築造時期は7世紀
- ・洪水で堤防を修復するときの土取りの対象となって消えていった。



神領第4号墳

6 高御堂古墳

- ・堀ノ内町5丁目(高御堂公園内)
- ・庄内川の旧河道によって形成された標高25m前後の自然堤防上に立地している。
- ・古墳時代前期と考えられる市内唯一の前方後方墳
- ・墳長63m
- ・4世紀代の古墳築造(市内で最も古い古墳の一つ)
- ・昭和26年に市指定史跡文化財
- ・高御堂古墳の後方部墳裾に沿って高貝用水開削されており、用水の石組みの一部が確認されている。



高御堂古墳 市内唯一の前方後方墳



高御堂古墳の後方部墳裾
高貝用水石組み検出状況

7 神領銅鐸

神領小学校北、神領保育園、貴船神社の境内に接した小川の堤あたりから2点の銅鐸が出土(1858年)したもので、出土場所にそれを示す石柱が立てられています。

貴船神社に秘蔵され、村人たちは雨乞いなどに使っていたとのこと。

この銅鐸は釣鐘状の青銅器で高さ約92cmと大きく、弥生時代後期(1800年前)のもので、三河・遠江地方を中心とした地域で多く発見されている「三遠式」と呼ばれる型式です。

本来の用途については諸説ありますが、一説によると雨乞いや農作物の豊穰を願う農耕祭祀に使用したと言われています。

激しく破損していたが、平成5年(1993)に修復復元され瑞雲寺に保管してある。同時に出土したもう1点の銅鐸は現在行方不明になっている。

平成元年9月に市指定文化財に指定されています。



出土された銅鐸



復元された銅鐸



「近畿式」は鈕(上部の半円式の部分)に飾り耳があるが、「三遠式」はそれがない。
 「三遠式」は短期間で姿を消し、やがて近畿式の分布圏に飲み込まれる。

④ 上条、下津、中切、松河戸辺り

この辺りは、春日井市で最も標高の低い地域で、早くから稲作が行われていました。

縄文時代末から近世に至る大規模な複合遺跡がみられます。

区画整理が行われるまで条里制の区画された整然と広がる水田がみられました。

○ 桜佐下五反田遺跡

平成 27 年土地区画整理事業に伴う試掘調査により新たな遺跡として確認され、発掘調査が行われました。

庄内川・内津川の合流点の北東(桜佐町字下五反田地内)の氾濫原に位置するところに、縄文、古墳、平安、鎌倉、室町時代の複合集落跡がみられます。

時代ごとに「ムラ」の中心地と分布域が比較的明瞭に分かれており、15 世紀を最後に水田へ変わりましたが、川の氾濫により集落は現況集落が所在する自然堤防(微高地)へ移転したと思われる。

○ 松河戸遺跡

平成 8 年(1996)1 月から 10 年(1998)11 月にかけて、区画整理事業に伴う発掘調査が行われました。

道風公園の北部一带に整然と広がっていた水田地帯に所在する広大な遺跡です。

縄文時代の終わりから弥生時代前期と鎌倉・室町時代の複合集落遺跡です。

稲作農耕が日本に伝わってきた初期の段階の遺物であり、縄文中期・弥生前期・古墳中期の集落、中世の条里地割水田などが確認されています。

特に弥生前期の環濠集落は愛知県下でも最大級の規模を誇り、環濠内および居住域を横断する自然流路から多数の木製品が出土しており、弥生前期の木製品の出土は現時点愛知県では松河戸遺跡のみです。

庄内川下流には、町田遺跡、勝川遺跡、味美古墳群と続いています。

【参照(p329) 14 松河戸遺跡】



庄内川、内津川合流点から東方面を望む

平成 29 年撮影

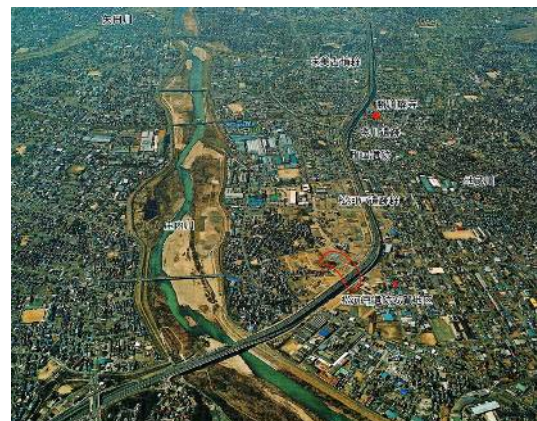
○は、桜佐下五反田遺跡、上方(上流)に気噴・大留・神領古墳群がみえる。

下方(下流)には松河戸遺跡などがある。



桜佐下五反田遺跡

区画整理事業に伴う発掘調査中 平成 29 年撮影



松河戸遺跡を東上空から望む(平成 8 年撮影)



松河戸遺跡 現地説明会 平成 8 年 8 月

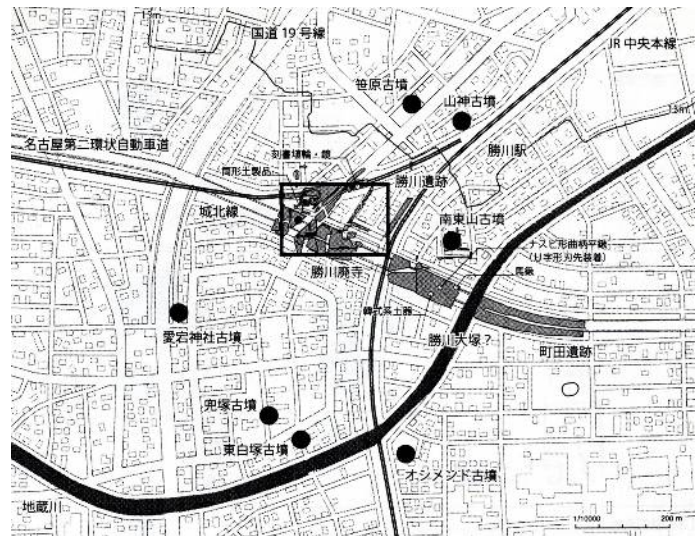
○ 勝川遺跡

JR 中央線を挟み、東名阪自動車道の高架が交差する勝川町 5 丁目を中心に庄内川の右岸に位置します。

勝川遺跡の推定範囲は東西約 600m・南北約 400m、立地地形上は段丘崖から庄内川・地蔵川の氾濫原にかけての広大な地域に及びます。

環濠集落、古墳(勝川古墳群)等、弥生時代、古代寺院(勝川廃寺 7 世紀末奈良時代)から近世の町家に至る市内屈指の複合遺跡で、継続的な大規模拠点集落であったことがうかがえます。

出土遺物は弥生土器、壺、甕・高坏、須恵短頸壺、瓦類、山茶碗があります。



勝川遺跡・古墳群・廃寺



古代遺跡 竪穴住居完掘状況(北東から)



愛宕(あたご)神社古墳

勝川町内の国道 19 号線沿いにあり、勝川古墳群で唯一現存する古墳です。

墳丘は社殿造営により原形を留めていませんが、直径 16.5m の円墳とされています。



▲勝川廃寺遺跡出土の軒丸瓦(正面と横)

▲同軒平瓦



勝川廃寺

勝川では方々で布目瓦が拾え、白鳳から奈良時代の寺院跡の存在が推定されていました。

土地区画整理事業に伴い、昭和 55 年からの調査の結果、その範囲は勝川町 5 丁目を中心とする東西 227m 南北 148m と推定されています。

これらの瓦は高蔵寺町の瓦窯で焼かれたと考えられています。

昭和 57 年 春日井市

⑤ 味美周辺の味美古墳群

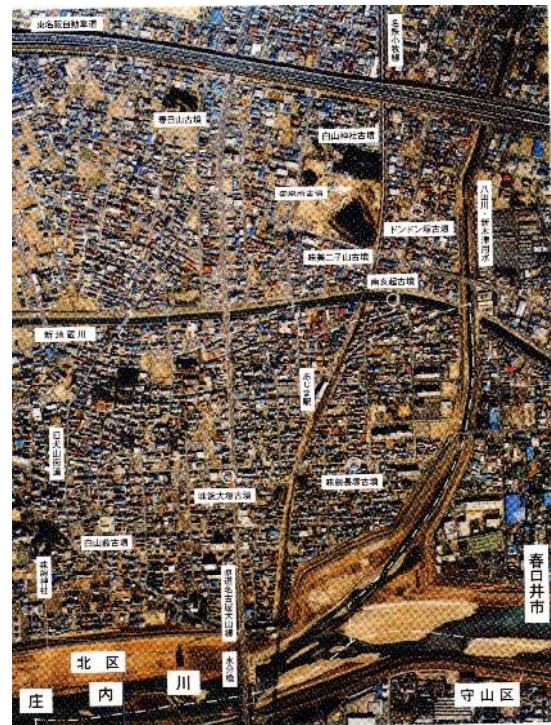
国の史跡に指定されている二子山古墳（前方後円墳・墳長 96m）、愛知県の史跡に指定されている白山神社古墳（前方後円墳・墳長 86m）、御旅所古墳（円墳・径 31m）、そして白山神社から県道 102 号を挟んで西方約 300 メートルに位置する春日山古墳（前方後円墳・墳長 74m）があり、合わせて 3 基の前方後円墳と 1 基の円墳が現存しています。

この他にかつて「味美」（春日井市二子町他）から「味鏡」（名古屋市北区）にかけて、百基以上存在した古墳を「味美古墳群」と総称しています。

古墳の年代については、埴輪などの特徴から 5 世紀の後半頃と推定されます。

二子山古墳から発掘された埴輪から味美古墳群の埴輪は近くを流れる八田川の上流にある下原古窯跡群（春日井市）で生産されたと推定されています。

須恵器製作技法を用いて大量生産され、このことから須恵器工人が製作に携わっていたことが推測されます。



味美古墳群現況 [平成 9 年 3 月撮影]

春日山古墳



昭和 52 年(1977)当時の味美古墳群
写真右下に味美二子山古墳、その上に味美白山神社古墳、その左手にある小規模な円墳が御旅所古墳で、写真左上には味美春日山古墳が見える。

国土交通省



昭和 24 年(1949)当時の味美古墳群
国土交通省 国土地理院 地図・空中写真閲覧サービスの空中写真を基に作成。

○ 二子山古墳

- ・春日井市で最大の規模を誇る古墳
- ・盾形の周溝をもった前方後円墳

全長 96m

後円部径 48m、高さ 8m

前方部幅 65m、長さ 54m

くびれ部幅 38m

- ・築造年代は、出土した埴輪や須恵器などから 6 世紀前半（約 1500 年前）とされている。

（昭和 11 年に国指定史跡）

○ 白山神社古墳

- ・前方後円墳

墳長約 86m、後円部径約 48m、高さ約 6.5m

前方部幅約 48m、長さ約 348、高さ約 5m、くびれ部幅約 30m

- ・墳頂に白山神社があり、周りに周濠をめぐるしている。
- ・平成 19 年度に発掘調査が実施され、出土した須恵器や埴輪から 5 世紀末から 6 世紀初頭の築造であると考えられる。

（昭和 58 年に県指定史跡）

○ 御旅所古墳

- ・円墳で、墳丘上に祠がある。

墳径 31m、墳高 2.9m

- ・出土した埴輪から 5 世紀末から 6 世紀初頭の築造で、埴輪の特徴から白山神社古墳に後出するものと考えられる。

（昭和 58 年に県指定史跡）

○ 春日山古墳

- ・白山神社から県道 102 号を挟んで西方約 300 メートルに位置する。

- ・前方後円墳

墳長約 74m、後円部径約 38m、

高さ約 6m、前方部幅約 43m、

長さ約 37m、高さ約 4.5m、

くびれ部幅約 30m

- ・築造時期は 6 世紀後半と考えられる。

味美古墳群コース（全長約 2km）



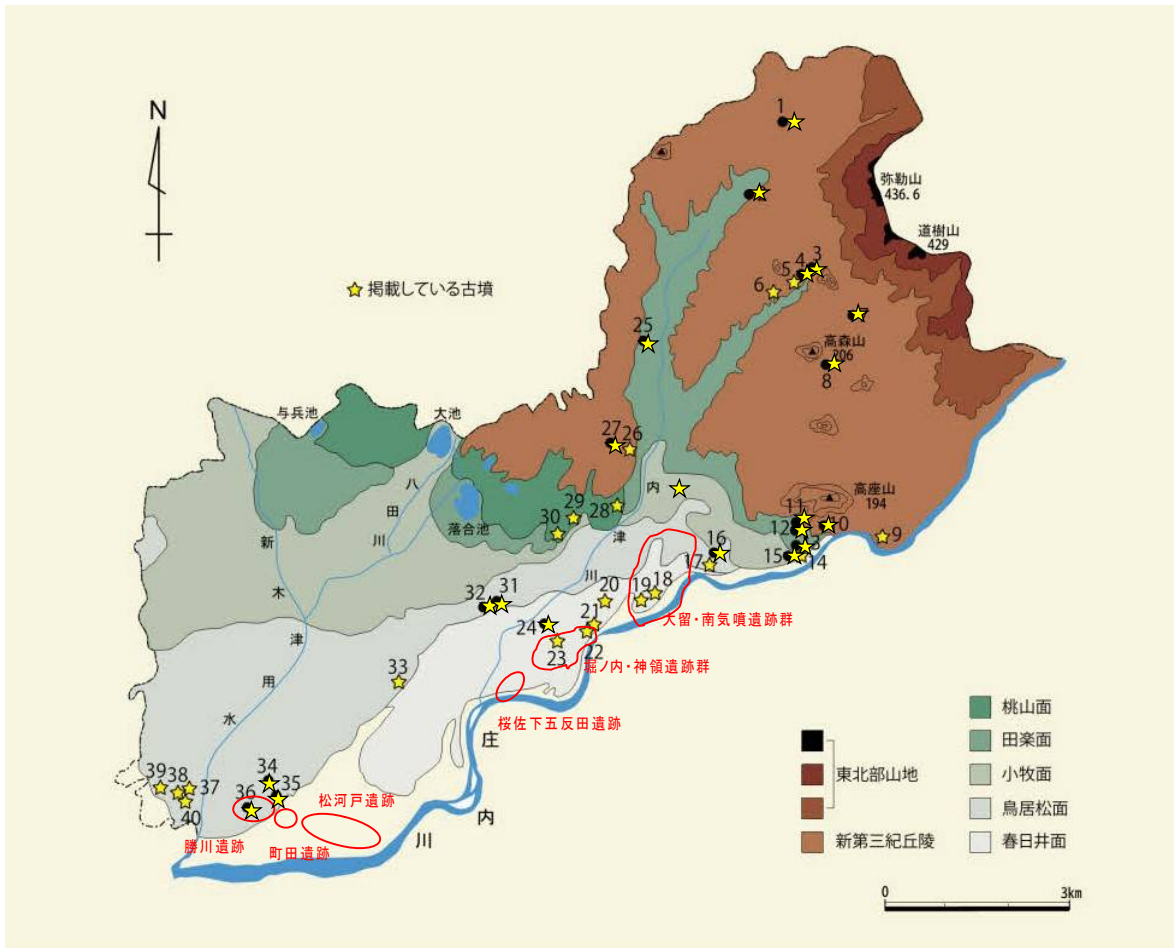
名鉄小牧線味鋺駅 →（約 0.8km・徒歩約 10 分）二子山公園 →（約 30m・徒歩約 1 分）二子山古墳・白山神社古墳・御旅所古墳 →（約 55m・徒歩約 1 分）ハニワの館 →（約 0.5km・徒歩約 6 分）春日山古墳 →（約 1km・徒歩約 15 分）名鉄小牧線味鋺駅

資料

春日井市教育委員会 文化財課の資料から

春日井市教育委員会 古墳散歩から

(参考資料) 春日井市の地形と主要遺跡分布



- 1:欠之下古墳 2:明知第1号墳 3:廻間第8号墳 4:廻間第9号墳 5:廻間第7号墳 6:廻間第1号墳
 7:大久手古墳 8:高森山古墳 9:高蔵寺第5号墳 10:高座山第1号墳 11:高座山第3号墳 12:高座山第2号墳
 13:高蔵寺第4号墳 14:高蔵寺第3号墳 15:高蔵寺第2号墳 16:大垣戸狐塚古墳 17:気噴第7号墳
 18:天王山古墳 19:親王塚古墳 20:大留荒子古墳 21:三明神社古墳 22:神領第1号墳 23:高御堂古墳
 24:堀ノ内第1号墳 25:神屋第1号墳 26:富士社古墳 27:猪之洞古墳 28:出川大塚古墳 29:オフジ古墳
 30:オセンゲ古墳 31:篠木第9号墳 32:篠木第2号墳 33:八事神明社古墳 34:笹原古墳 35:南東山古墳
 36:愛宕神社古墳 37:白山神社古墳 38:御旅所古墳 39:春日山古墳 40:二子山古墳

資料 市教育委員会文化財課